

令和6年度
校長だより

あかつき

9月号



～ あかつき山の麓から感謝を込めて ～



丹波市立新井小学校 校長 谷川知美

爽秋の候、地域の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の学校教育活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2学期スタート

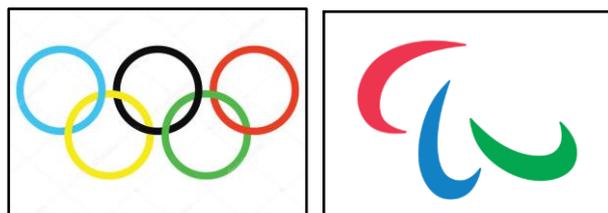
9月2日（月）に、久しぶりに出会った子どもたちは、とても元気で爽やかでした。満面の笑顔で朝のあいさつをしてくれる子どもたちを見て、

**「さあ、始まった！
良い2学期にしよう！」**

と気合が入りました。素敵な毎日が過ごせるように一緒に頑張っていきます！

始業式の話

ところで、みなさん、このマークは何でしょう。



左が「オリンピック」
右が「パラリンピック」です。

始業式では、オリンピックを見ていて、「あきらめない心」って素敵だなあと思ったことを話しました。

オリンピック



五輪マーク

5つの大陸の結合を表現

大会に全世界から競技者が集まることを象徴

パラリンピック



スリーアギトス

「アギト」はラテン語

「私は動く」という意味

困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現

あきらめない心

例に出したのは、スケートボードの堀米雄斗（ほりごめゆうと）選手です。やりたい演技ができるまで、倒れても倒れても挑戦し続けました。5回目の最後の演技で成功し、金メダルを取りましたが、もし失敗していたらどうだったでしょう。おそらく後悔をしなかったと思います。それよりも挑戦しなかったら、そのことを悔いるのではないのでしょうか。

堀米選手は最後のインタビューで、「自分を信じ切ったことが成功につながったと思う」と答えていました。この言葉から、

努力することをあきらめず、自分を信じ切れる練習を積んできたことが分かります。

そこで最後に、「大切なのは、メダルの数や色ではありません。そこに至るまでの過程と、最後まで力を出し切った、やりとげたと思えることが大切です。あきらめない心で2学期を過ごしましょう。」と子どもたちに話しました。

2学期は1年間で最も長い学期です。運動会や音楽会などの行事を通して、最後まで挑戦する気持ちを大切にしてほしいと思います。そして自分だけでなく、友だちも頑張っていることを感じたり認めたりしながら、心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。



「にっ子体操」の練習風景です

毎朝玄関で子どもたちと朝のあいさつを交わしていると、北山の交差点で黄緑色のジャンパーを着て登校を見守ってくださる方が遠くに見えます。ボランティアを申し出てくださった方々の姿です。ありがとうございます。

黄緑色のジャンパーが学校にありますので、他地区であいさつや見守りをしてくださっている方がありましたら学校へご連絡ください。お届けします。(熱中症にはご注意ください)

新井小学校 72-0346

芸術の秋

以前、『buncul 文化庁広報誌ぶんかる News 012』を読みました。子ども時代の文化芸術体験は、大人になったときの文化芸術に関する行動にプラスの影響を与えるそうです。しかしながらコロナ禍によりそれが減少しました。

それに関するアンケートでは、「学校における講演や展示などの鑑賞体験を充実させる」ことが重要であると3分の1以上の大人が回答していました。

そこで本年度の新井小学校では、文化芸術体験や鑑賞学習(能楽鑑賞、俳句教室、シューベルティアデーふるさと音楽ひろば、お茶体験、和太鼓鑑賞)を多く取り入れた教育課程にしています。



学校だよりも紹介していますが、

9月25日(水) 13:00 開演

ふるさと音楽広場

を開催します。

皆さん、ぜひお越しください!

音楽に触れることは脳の活性化にもつながり、音楽のメロディーや楽器の音色は、感情に関わる脳の部位を刺激し、豊かな感受性を育てるそうです。

子どもたちにとっては、脳の神経経路が活発になり、学習能力の土台となる集中力や記憶力、空間的知能、計算処理能力などが高まります。

地域の皆さんにとっては、ストレスの解消に役立つのではないのでしょうか。

お子さんが通っている、通っていないに関わらず、気軽に学校へお越しください。地域の学校「新井小学校」を身近に感じてくださればうれしいです。

お待ちしております!

